

新しい放射線治療 - 放射線リガンド療法 -

前立腺がんに対する放射線リガンド療法「プルヴィクト」が当院で始まりました！

放射線リガンド療法とは？

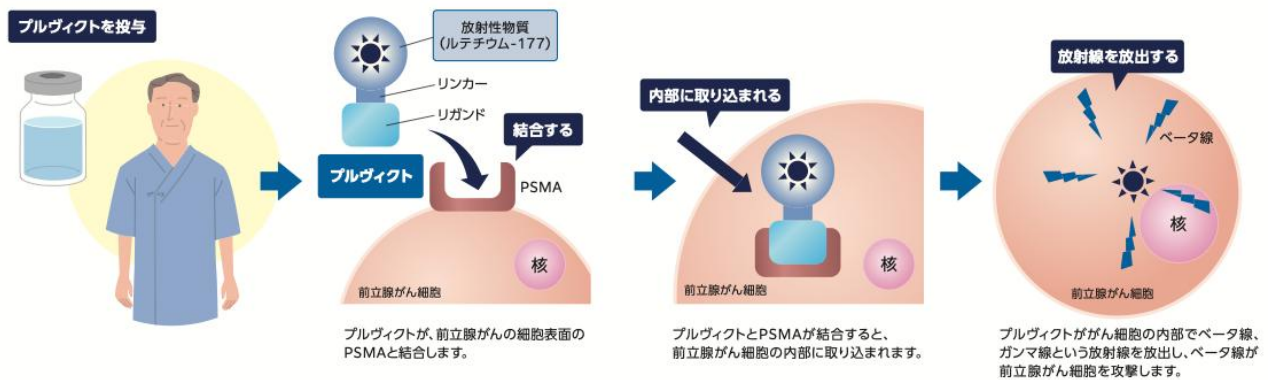
特定のがん細胞のみに結合する物質（リガンド）と、放射線を放出する放射性同位元素を結合させた薬剤を患者さんに投与することにより、薬剤が、がん細胞に結合して放射線を直接がん細胞に放出して治療を行う新しい放射線治療です。

当院では現在、神経内分泌腫瘍（NET）に対してルタテラ[®]を用いた放射線リガンド療法を行っています。このたび新しい放射線リガンド療法薬であるプルヴィクト[®]が、転移を有する去勢抵抗性（初期治療であるホルモン療法が効かなくなった）前立腺がんの一部に、保険診療で使えるようになりました。当院にて2026年2月にプルヴィクト治療を開始しました！

プルヴィクト治療について

プルヴィクトは、去勢抵抗性前立腺がん細胞表面に発現している「PSMA（前立腺特異的膜抗原）」に結合するリガンドであるピピボチドテトラキセタンに、放射線を放出する物質（ルテチウム-177）を結合させた薬剤です。PSMAが発現している（PSMA陽性）かどうかは、PSMA-PET検査（この検査は九州大学病院のみで行なわれています）を行って診断します。PSMA陽性の場合のみ、プルヴィクト治療を行うことができます。PSMA陽性であることが確認されれば、プルヴィクトを6週間ごとに最大6回点滴で投与し、**がん細胞内から放射線を放出すること**でがんの進行を食い止めます。

治療は特別な措置を施した病室に入院して行います。投与後3-7日は体内から放射線が放出されますので一定期間の隔離が必要です。



*ノバルティスファーマ株式会社 患者向け資料より転載

プルヴィクト治療につきまして、ご質問、ご相談などありましたら下記までご連絡ください。

これからも九州がんセンターは九州唯一のがん専門病院として、放射線リガンド療法などの新しい治療に積極的に取り組んでまいります。

★ プルヴィクト治療についてのお問い合わせ先

九州がんセンター がん相談支援センター TEL 092-541-8100（直通）